

たからっ子道徳通信

◇乗り入れ道徳の様子から

2学期に入り、新たな気持ちでスタートする中で道徳科の授業にも新鮮な気持ちで取り組む姿が見られます。今回は担任以外の先生が授業をする授業者が変わる乗り入れ道徳の様子を紹介していきます。まず後期課程からです。

☆7年生「ふと目の前に 森繁久彌」(B 相互理解, 寛容)

7年生の授業には、4年担任の瀬戸先生が授業をしました。俳優の森繁久彌さんの舞台での出来事が綴られた話から授業では一人一人が素直に広い心で相手を受け止める事について考えていました。お互いに学び合う姿が印象的で自分の考えを伝え合っていました。相互理解で相手の事だけでなく自分の考えも理解してもらおう難しさについても気づき、考えていました。

○生徒の発言より

- ・認め合うときに相手の事を知ったり、自分の事を伝えたりする事が大切だと気づきました。



☆8年生「キャッチボール」(C 遵法精神, 公德心)

8年生には5年担任の神平先生が授業をしました。公共のルールを守らなくてはならないと感じながらも、自己中心的な行動を取ってしまった主人公の話からルールの意義についての考えを深めていました。自分の意見をしっかりとって考えていました。

○生徒の発言より

- ・相手のことを考えながら行動することはこれから社会に出るときには必要になってくるので気をつけて生活したい。



◇たからっ子の木の場所が変わりました。

これまで、玄関を入った右手に道徳コーナーを設置していましたが、「たからっ子の木」が大きくなったので体育館の渡り廊下に移動しました。8月のテーマ「2学期に頑張りたいこと」と9月テーマの「運動会を通して学んだこと」の掲示もしてあります。来校された際はぜひご覧になってください。

